

アプローチカリキュラム(5歳児)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
ステージ	I		II			III				IV								
育つ児へのほほえい姿	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する	気持ちよく生活するために必要なことに気付き、自分で取り組む				就学に期待をもち、自信をもって生活する											
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ	好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる				目的に向かって、実現するための方法を考え工夫して遊ぶ											
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む			友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる			友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう										
育みたい資質・能力	幼児期の終わりまでに育つてほしい姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え	(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重	(協同) 協同性 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い	(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現												
	知識及び技能の基礎	身の回り整える必要性が分かり進んで行おうとする (クラス開き・帰りのひととき)				安全を考え自分なりに判断し状況に応じた行動をする (避難訓練・交通安全教室・園外保育)				時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める (給食・日々の遊び・45分の活動や遊び)								
	思考力・判断力・表現力等の基礎	様々な身体の動きを楽しみながら積極的に身体を動かして遊ぶ (ダンスごっこ・リズム運動)				きまりの必要性がわかり守ったり考え合ったりする (集団遊び・リレー・ドッヂボール・楽器遊び・ルールのある遊び)				自分の気持ちに折り合いをつけながら遊びや生活を進める (集団遊び・劇遊び・正月遊び・卒園に向けての生活)								
学びに向かう力・人間性等	して良いこと悪いことをじぶんで考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・給食・帰りのひととき)				いろいろな人と触れ合いが会わることで地域に親しみをもつ (園外保育・他園児との交流・一年生との交流)				場や状況を考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・帰りのひととき)									
	身の回り整える必要性が分かり進んで行おうとする (クラス開き・帰りのひととき)	様々な身体の動きを楽しみながら積極的に身体を動かして遊ぶ (ダンスごっこ・リズム運動)				安全を考え自分なりに判断し状況に応じた行動をする (避難訓練・交通安全教室・園外保育)				時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める (給食・日々の遊び・45分の活動や遊び)								
	して良いこと悪いことをじぶんで考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・給食・帰りのひととき)	いろいろな人と触れ合いが会わることで地域に親しみをもつ (園外保育・他園児との交流・一年生との交流)				自分の気持ちに折り合いをつけながら遊びや生活を進める (集団遊び・劇遊び・正月遊び・卒園に向けての生活)				場や状況を考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・帰りのひととき)								
幼小連携活動	身の回り整える必要性が分かり進んで行おうとする (クラス開き・帰りのひととき)	様々な身体の動きを楽しみながら積極的に身体を動かして遊ぶ (ダンスごっこ・リズム運動)				安全を考え自分なりに判断し状況に応じた行動をする (避難訓練・交通安全教室・園外保育)				時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める (給食・日々の遊び・45分の活動や遊び)								
	して良いこと悪いことをじぶんで考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・給食・帰りのひととき)	いろいろな人と触れ合いが会わることで地域に親しみをもつ (園外保育・他園児との交流・一年生との交流)				自分の気持ちに折り合いをつけながら遊びや生活を進める (集団遊び・劇遊び・正月遊び・卒園に向けての生活)				場や状況を考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・帰りのひととき)								
	して良いこと悪いことをじぶんで考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・給食・帰りのひととき)	いろいろな人と触れ合いが会わることで地域に親しみをもつ (園外保育・他園児との交流・一年生との交流)				自分の気持ちに折り合いをつけながら遊びや生活を進める (集団遊び・劇遊び・正月遊び・卒園に向けての生活)				場や状況を考えて行動しようとする (日々の遊び・生活・帰りのひととき)								
<学園重点> 聞く指導	会話を楽しみ、話を聞く楽しさを感じる。					話の内容に興味関心をもち、話を聞こうとする。					話を最後まで聞く。							
	・進級に対する不安への対応を図る。(アプローチカリキュラムを知らせる。) ・年長として生活における1年間の見通し。 【 ♥多様性への配慮 】信頼関係を築きながら、就学を見通した連携を取り合う。					・遊びを通して様々な意欲が引き出されることを伝える。 ・友達との活動を通して協同性が育まれ小学校生活や学習の基盤となることを伝えいく。 【 ♥多様性への配慮 】こまめな連携を取り合い、園と家庭とで共に成長を支えていく。					・就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けていく生活を促す。 ・入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。(スタートカリキュラムを知らせる。) 【 ♥多様性への配慮 】就学に向け伸ばしたい力、身に付けたい習慣など、保護者の不安に寄り添いながら、生活づくりを促す。							
	☆やつてみたい気持ちが実現していくような環境を構成する。 ☆文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。(当番表・片付け明示・誕生表等)					☆○自分たちで考え、やってみたいと思えるような場を多く設定しその中で自分の力を十分発揮できるようにする。 ☆不思議に感じたことを共感し、調べて分かる楽しさを感じられる場をつくる。(図鑑や絵本等)					☆子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 ☆グループでの取り組みの中で、一人一人が自分を発揮し、互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設ける。 ☆少し難しいことに向き合い、友達と一緒に工夫して乗り越えていく場をつくっていく。							
指導上の配慮事項	☆環境構成の工夫	○子どもの知っている知識や情報を活かし、関心を継続できるようにする。 ○進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもって行動できるようにする。 ○生活の中で気付いたことをきっかけとして、自分たちで約束等をつくり出せるようにする。 【 ♥多様性への配慮 】特性や実態を把握した支援をし、生活や経験の幅を広げていく。					○目的が明確にもてるようになる。一人一人の頑張りをクラスの子どもに知らせ、良さに気付かせたり頑張りを喜び合ったりする。 ○関わりの中で互いの思いを理解できるように相手の言葉や表情、行動に関心を向かれるようにする。 【 ♥多様性への配慮 】個々の状況に応じて、成長を支えながら、行事や集団活動などに参加できるように支援していく。					☆一人一人が興味をもって、週や1日の見通しを分かって行動できるような表示を工夫する。 ☆一緒に力を合わせて取り組んできたことや目的が達成されたことへの喜びが味わえるような生活をつくる。 ○自分たちで生活を進めている充実感を味わえるようにする。 ○共通の目的に向かって意見や考えがまとまる楽しさが実感できるようにする。 【 ♥多様性への配慮 】一人一人の成長を認め、自信をもって生きていく。						
	○保育者のかかわり	【 ♥多様性への配慮 】一人一人の発達段階や状況に応じた、環境援助を工夫し安心して過ごせるように支援する。																

袋井あやぐも学園 幼保小の架け橋期のカリキュラム（令和7年度版） 学園教育目標：夢を追い続ける子供の育成

ス タ ー ト カ リ キ ュ ラ ム (1 年 生)